

OBSSESSION + 上野星矢

極められた三つの魅力がぶつかり惹かれ合い新たな境地へ広がっていく



Yuko Mifune

Akira Horikoshi

Seiya Ueno



三松優子
(ピアノ)

堀越 彰
(ドラム)

上野星矢
(フルート)

PROGRAM

A. BORODIN / POLOVTSIAN DANCES FROM OPERA 'PRINCE IGOR'

ボロディン / 歌劇「イーゴリ公」より **ダツタン人の踊り**

C. DEBUSSY / LA CATHEDRALÉ ENGLOUTIE

ドビュッシー / **沈める寺**

M. RAVEL / BOLERO (SEIYA UENO VERSION)

ラヴェル / **ボレロ** (w/ 上野星矢)

C. BOLLING / SUITE NO. 1 FOR FLUTE AND JAZZ PIANO TRIO

ボーリング / **フルートとジャズピアノトリオのための組曲 第1番**より

他

※やむを得ない事情により、曲目・出演者が変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

2020

8/1発売開始!

10/30

FRIDAY 19:00 start
(18:00 open)

全席自由 **¥5,000**

東京文化会館
小ホール TEL:03-3828-2111

●JR上野駅公園口改札から徒歩約1分

プレイガイド

- イープラス (インターネットのみ)
<http://eplus.jp/obsessionueno/>
- 東京文化会館 チケットサービス (電話・窓口・インターネット)
TEL: 03-5685-0650 (休館日を除く10-18時)
※窓口は休館日を除く10-19時 ※インターネットはHPから
- カンフェティチケットセンター (電話・インターネット)
TEL: 0120-240-540 <http://confetti-web.com/>

〇感染症対策について

お客様同士の距離をとってご鑑賞いただく為、座席数を限定して販売いたします (7/1現在の状況)。ご来場の際は、係員の誘導のもと順次ご着席くださいますようお願いいたします。

お問合せ 未来音楽企画

TEL: 03-5946-9455 (平日 10-18時) MAIL: info@mirai-music.com

OBSESSION 「最小にして最大のオーケストラ」

ジュリアード音楽院卒業、国際的に活躍する日本が誇るクラシックピアニスト三船優子と、山下洋輔ニュートリオで鮮烈デビュー、以後30ヶ国以上の海外公演を経験し、独自のスタイルで様々なジャンルを凌駕するドラマー堀越彰によって2014年に結成されたOBSESSION。クラシックピアノとドラムのアンサンブルが化学反応を起こし、耳馴染みのあるクラシックの名曲に「高揚感」と「疾走感」という命が吹き込まれ新しい風を起こした、世界でも稀なデュオ。

2017年にリリースされた1stアルバム『OBSESSION』はレコード芸術で特選盤となり大きな反響を呼び、以後全国各地でコンサートはもとより、オーケストラとの共演、海外公演、ワークショップ、アウトリーチ、チャリティーコンサートなど、幅広く活躍、ジャンルを越えたファン層を広げている。2020年3月、2ndアルバム『OBSESSION II』をリリース、好評を博す。

三船優子 Piano

幼少時代をアメリカ・ニューヨークで過ごす。ジュローム・ローエンター、井口秋子、奥村洋子、安川加寿子に師事。桐朋学園大学在学中、第57回日本音楽コンクール第1位。同大学首席卒業後、文化庁派遣研修員としてジュリアード音楽院に留学、マーティン・キャンニンに師事。91年にロス・アンジェルズにおいてアメリカデビューを果たし、LATimesにて絶賛、クラシックラジオ局WQXRにて全米放送、高評を得る。同年フリーナ・アワーバック国際ピアノコンクール、ジュリアードソリストオーディションで優勝。帰国後は、リサイタルはもとより国内外の主要オーケストラとも共演を重ねる。海外公演も多数。これまでにCDも多くリリース、いずれもレコード芸術特選盤となる。

ラジオパーソナリティ、NHK-BS2「週刊ブックレビュー」の司会を各6年間に亘り務めるなど、メディアなど多方面で活躍。マスタークラスやアウトリーチの教育活動にも力を入れる。

古典から現代音楽に至る幅広いレパートリーにも定評があり、華のあるダイナミックな演奏で聴衆を魅了しつづける、日本を代表するピアニストのひとりである。

京都市立芸術大学非常勤講師。HP: yukomifune.com



堀越彰 Drums & Percussion

海老沢一博氏、村上“ボンタ”秀一氏に師事。'90年、「山下洋輔ニュートリオ」でデビュー。国内を始め、ヨーロッパツアー、南米ツアー、ベルギーの野外コンサート、日本全国縦断88ヶ所サバイバルツアー等に参加。'94年新たに「山下洋輔デュオプラス」として活動を開始し、10年に及びレギュラーユニットとして活動。

日舞家の父の影響から、ジャズのみならず邦楽、民俗音楽とのセッションなど、幅広いジャンルにおいて国内外で活動。伊藤多喜雄、チェンミン等とも共演し、イベント構成・演出も手がけ、楽曲提供も行なう。

「The WILL」「東方異聞」「SOLO-ist」などを主催した後、'12年尺八奏者小演明人と「LOTUS POSITION」結成。'15年、山下洋輔も加わり、国際交流基金主催でチェコ・スロヴァキア四都市ツアーを成功させ、アルバム「LOTUS POSITION with 山下洋輔」リリース。デヴィッド・ルヴオー演出舞台「ETERNAL CHIKAMATSU」「黒鯉」「道」に音楽メンバーとして連続参加。

シルク・ド・ソレイユで活躍したパフォーマー、フィリップ・エマールらと組む「INSTINCT」でも活動中。

都内に2カ所のドラムスクールのほか、日本工学院でもクラスをもつ。

楽器提供: Canopus HP: akirahorikoshi.com

上野星矢 Flute

19才で、フランスで開催された『第8回ランバル国際フルートコンクール』で優勝。その後、世界を舞台に活躍する日本クラシック界を代表するアーティスト。

東京都出身。小学校4年生でフルートを始め、全日本学生音楽コンクール全国大会中学生の部、高校生の部など、国内の主要コンクールの数々で優勝を果たす。15才で初リサイタルを行い、東京都立芸術高等学校に進学。2008年、東京藝術大学音楽学部フルート専攻入学。同年、世界的フルート奏者の登竜門である『第8回ジャン＝ピエール・ランバル国際フルートコンクール』優勝。杉並区文化功労賞受賞。

2009年よりパリに留学し、パリ国立高等音楽院に審査員満場一致で入学。2012年、パリ国立高等音楽院第1課程を審査員満場一致の最優秀賞並びに審査員特別賞を受賞し卒業。2012年10月、日本コロムビアレコードよりファーストアルバム『万華鏡 KALEIDOSCOPE』でCDデビュー。翌2013年8月にセカンドアルバム『DIGITAL BIRD SUITE』(デジタルバード組曲)を発売し、2作連続で雑誌『レコード芸術』特選盤に選ばれる。2014年、New York Young Concert Artist 2014にて最優秀受賞。2015年1月にサードアルバム『into Love』を発売。2014年、ニューヨーク・ヤングアーティスト・コンペティション(New York Young Concert Artist 2014)にて最優秀賞。2015年秋には全8カ所のアメリカツアーを成功させ、ケネディセンターでのリサイタル、最終公演はニューヨーク・カーネギーホールでリサイタルデビューを果たす。2018年『テレマン:無伴奏フルートによる12の幻想曲』、2019年『W.F. バッハ2本のフルートのための二重奏曲集』を発表、2020年『フルートによる三大ソナタ』をリリース予定。第25回青山音楽賞新人賞受賞、第17回ホテルオーケストラ音楽賞受賞。

これまでに東京交響楽団、チェコフィル八重奏団、イル・ド・フランス国立管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、オーヴェルニュ室内管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、札幌交響楽団等と共演。テレビ朝日「報道ステーション」、NHK「ニューイヤーオペラコンサート」、NHKラジオ「きらクラ」等、メディアにも度々出演。現在は世界を舞台に、ソロリサイタルやオーケストラとの協演などの演奏活動の他、後進の指導など、あらゆる分野にて活躍中。